

平成30年度市民アンケート結果報告書

宗 像 市

(問い合わせ先)

宗像市 経営企画部 経営企画課

電話：０９４０－３６－１１９２

目 次

1	調査の概要	1
	(1) 調査の目的	1
	(2) 調査の方法	1
	(3) 調査内容	1
	(4) 回収結果	3
	(5) 標本誤差	4
	(6) 回答者の属性	4
	(7) 報告書の見方	6
2	調査結果	7
	(1) 住まい・まちなみなどについて	7
	(2) 防災・交通について	14
	(3) 健康・福祉について	20
	(4) 消費生活について	29
	(5) 国際交流・子育てについて	33
	(6) 男女・人権意識について	37
	(7) 郷土・歴史遺産について	40
	(8) 地域活動・ボランティア活動・コミュニティなどについて	42
	(9) 文化活動について	50
	(10) スポーツ・運動について	55
	(11) 行政について	60
	(12) 宗像市が進める31施策の重要度・満足度について	71

1 調査の概要

(1) 調査の目的

宗像市の各施策に対する、市民の生活実感に基づく現在の満足度及び今後の重要度や、市の施策の取り組みの結果を評価・分析するための「まちづくり指標」のアンケート調査項目の現状値を把握し、本市の今後のまちづくりに活用する。

(2) 調査の方法

- ①調査地区 宗像市全域
- ②調査対象 市内在住の18歳以上の男女1,500人
- ③抽出方法 住民基本台帳（平成30年12月末日現在）から無作為抽出
- ④調査方法 郵送による配布、回収
- ⑤調査期間 平成31年1月11日～2月8日
- ⑥調査主体 宗像市 経営企画部 経営企画課

(3) 調査内容

本調査では、市民の日常生活及び生活意識や、第二次宗像市総合計画前期基本計画の31施策について現在の満足度及び今後の重要度を尋ねた。アンケート中の各項目と総合計画前期基本計画の施策対応表は、下表のとおりである（表1-1）。

表1-1 アンケート項目と施策の対応表

まちづくりの柱 (取組分野)	基本計画中の施策名	施策 番号
元気を育む まちづくり (子育て・教育・健康福祉など)	子どもの健やかな成長	1
	子育て環境の充実	2
	教育活動の充実	3
	教育環境の充実	4
	グローバル人材の育成と国際交流の推進	5
	健康づくりの推進	6
	安心できる医療体制の充実と社会保険制度の健全運営	7
	高齢者の健康づくり、生きがいづくり、場づくり	8
	自立した生活の支援	9
	お互いに尊重し、協力し合う社会の充実	10
賑わいのある まちづくり (産業振興・歴史文化・ スポーツなど)	観光による地域の活性化	11
	地域産業の活性化	12
	資源を活かした島の活性化	13
	歴史文化の保存と活用	14
	生涯を通じた学習の振興	15
	スポーツの多面活用	16

まちづくりの柱 (取組分野)	基本計画中の施策名	施策 番号
調和のとれた まちづくり (安全安心・環境・都市基盤など)	防災対策の強化	17
	防犯・交通安全・消費生活対策の充実による安全・安心して生活できる環境整備	18
	快適な生活環境の保全	19
	自然環境の保全と再生	20
	調和のとれた土地利用と魅力ある景観の形成	21
	住宅施策の推進	22
	都市基盤の整備	23
	公共交通の利便性の向上	24
みんなで取り組む まちづくり (コミュニティ・市民活動・ 行財政基盤など)	地域の特色を活かしたコミュニティ活動の推進	25
	市民活動の推進	26
	情報受発信の充実	27
	連携によるまちの経営	28
	情報化の推進・情報の適正管理	29
	計画的かつ効率的な行政経営	30
	公共施設等公共資産の管理、最適化の実践	31

(4) 回収結果

回収数は710件（回収率47.33%）であった。性別、年齢別、居住地別の母数と回収数は下表のとおりである（表1-2）。回収結果の数値は原則として小数点以下第二位を四捨五入しており、合計しても100%にならない場合がある。

表 1-2 性別・年齢別・居住地別母集団数及び回収数

■男女別	人口数	人口割合	回収数	割合
男性	38,080	47.1%	308	43.4%
女性	42,736	52.9%	381	53.7%
無回答	—	—	21	3.0%
計	80,816	100%	710	100%
■年齢別	人口数	人口割合	回収数	割合
18～29歳	10,840	13.4%	63	8.9%
30～39歳	11,723	14.5%	93	13.1%
40～49歳	12,645	15.6%	88	12.4%
50～59歳	11,176	13.8%	102	14.4%
60～64歳	6,599	8.2%	73	10.3%
65歳以上	27,833	34.4%	257	36.2%
無回答	—	—	34	4.8%
計	80,816	100%	710	100%
■居住地別	人口数	人口割合	回収数	割合
吉武	1,613	2.0%	12	1.7%
赤間	14,365	17.8%	124	17.5%
赤間西	8,116	10.0%	68	9.6%
自由ヶ丘	12,460	15.4%	116	16.3%
河東	13,194	16.3%	116	16.3%
南郷	4,757	5.9%	42	5.9%
東郷	8,028	9.9%	75	10.6%
日の里	10,014	12.4%	80	11.3%
玄海	2,703	3.3%	23	3.2%
池野	3,237	4.0%	31	4.4%
岬	1,774	2.2%	5	0.7%
大島	555	0.7%	1	0.1%
無回答	—	—	17	2.4%
計	80,816	100%	710	100%

（５）標本誤差

本調査は、標本調査であり、この結果と市民全体の考えとの間には誤差が生じることがある。これは、標本誤差と呼ばれるものであり、以下の式で計算することができる。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

（注） Nは母集団数（80,816人）、nは有効回答者数（710人）、pは標本比率を表す。

本調査の標本誤差は、信頼度を95%とすると、下表のとおりである（表1-3）。

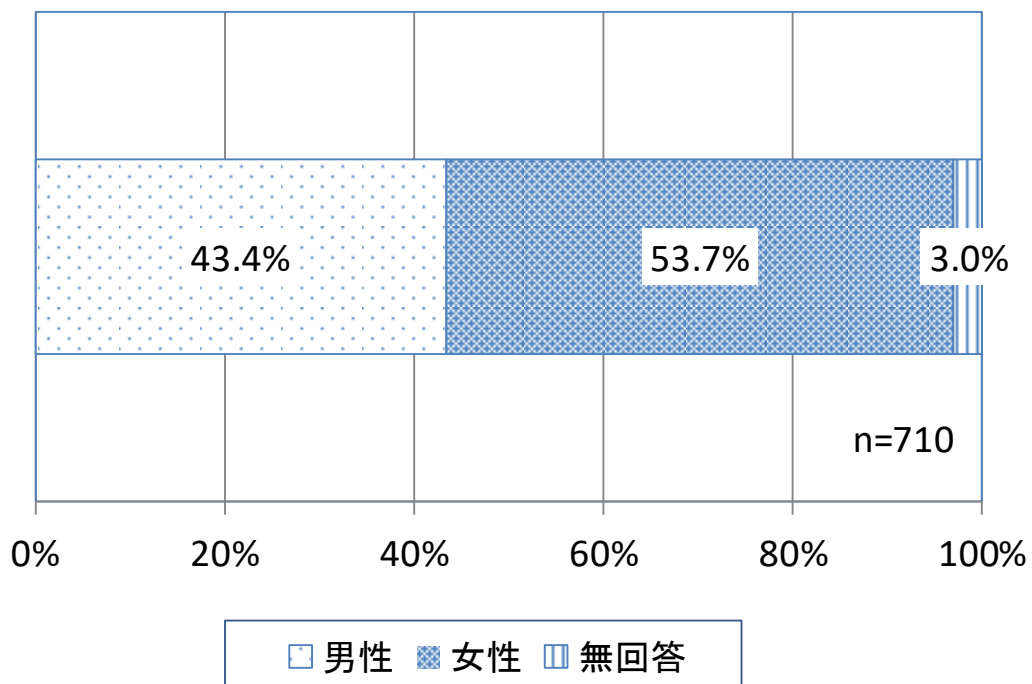
表 1-3 標本誤差早見表

標本比率	標本誤差率
10%または90%	±2.20
20%または80%	±2.93
30%または70%	±3.36
40%または60%	±3.59
50%	±3.66

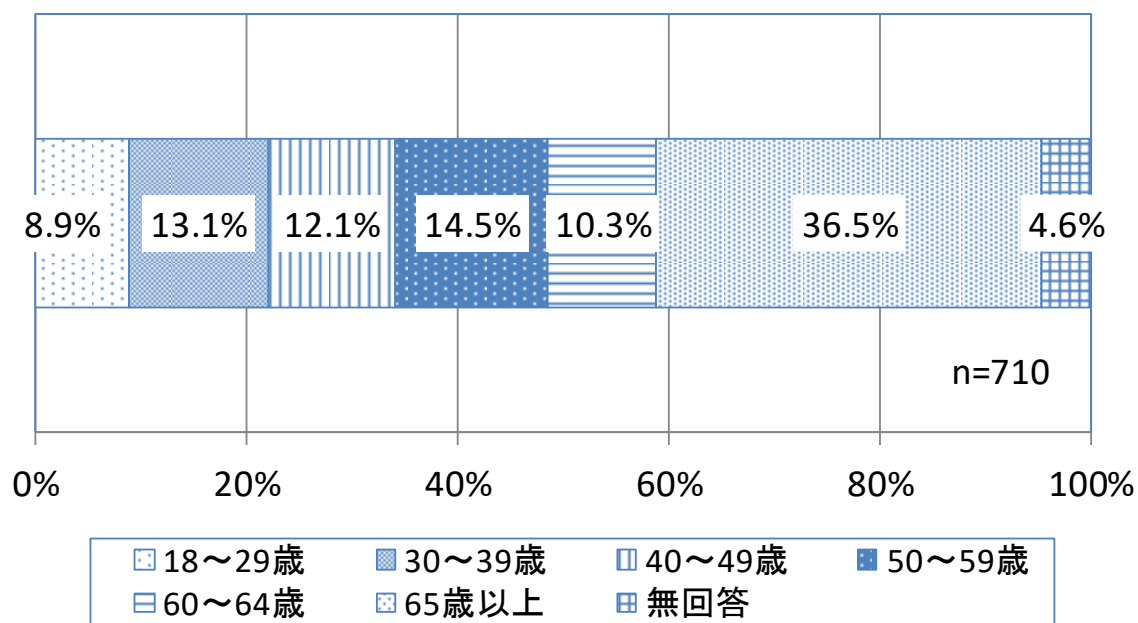
例えば、ある項目の満足度が50%であった場合、母集団の満足度は50%の±3.66%であると推計される。つまり、母集団である宗像市民全体の満足度は、46.34%から53.66%の間にあると考えられる。

（６）回答者の属性

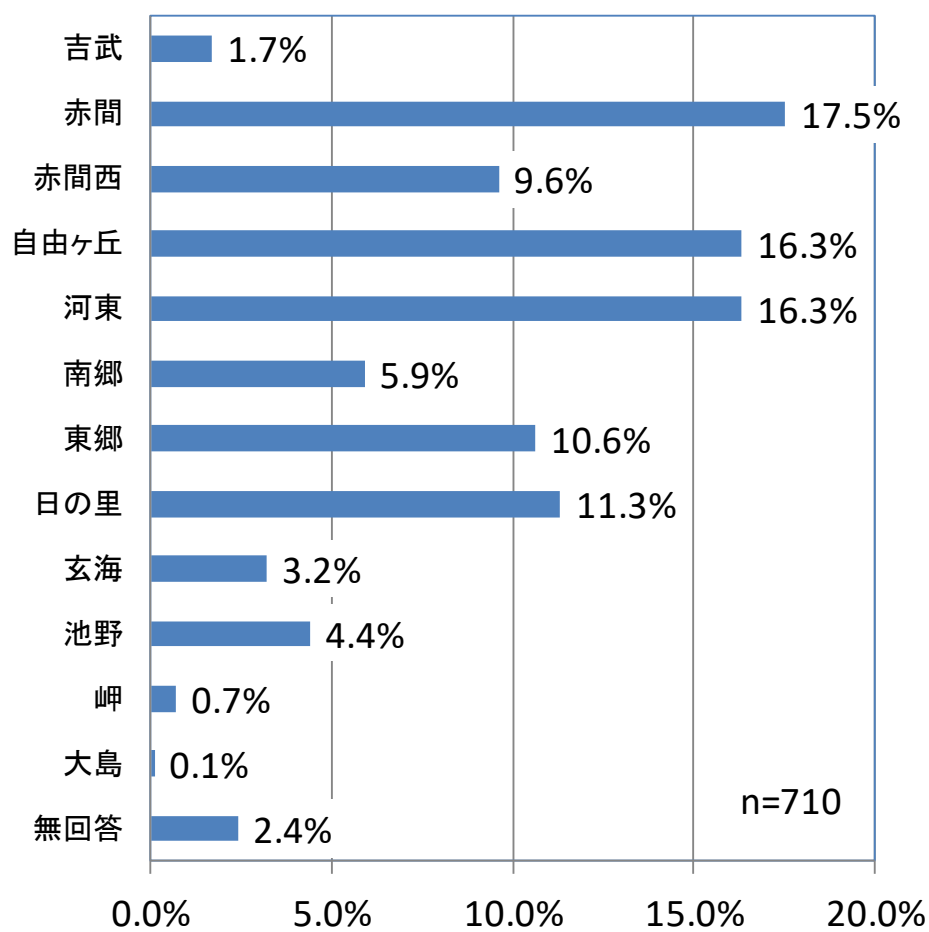
①性別



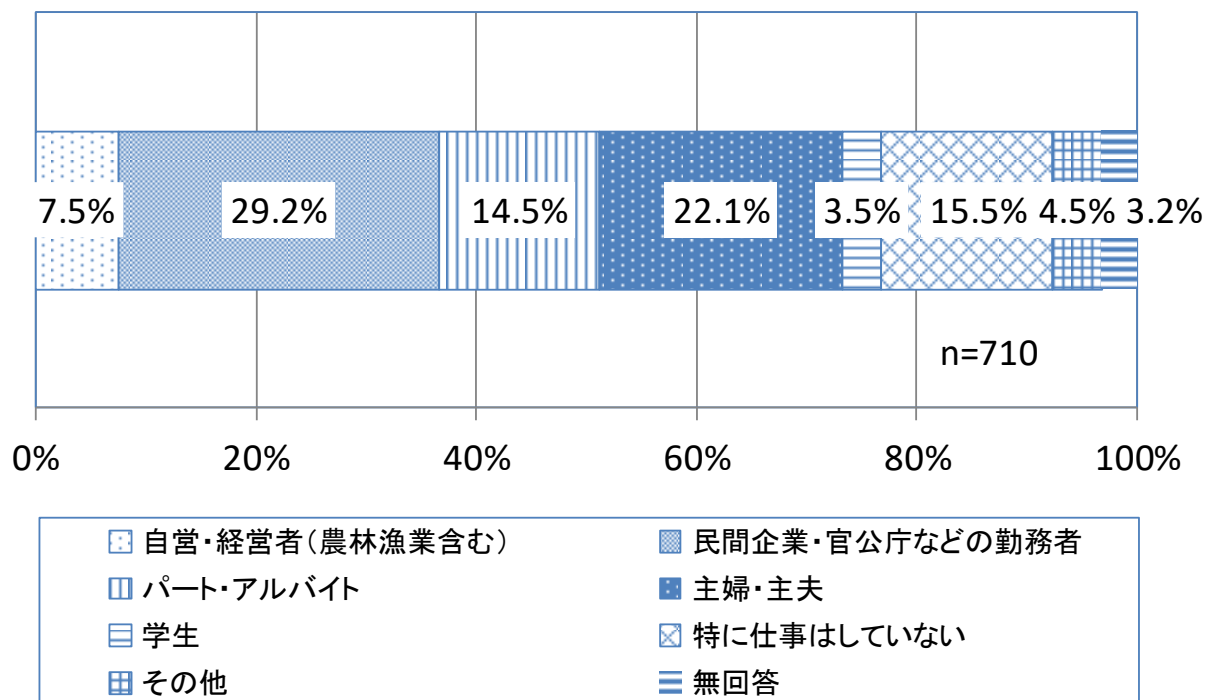
②年齢



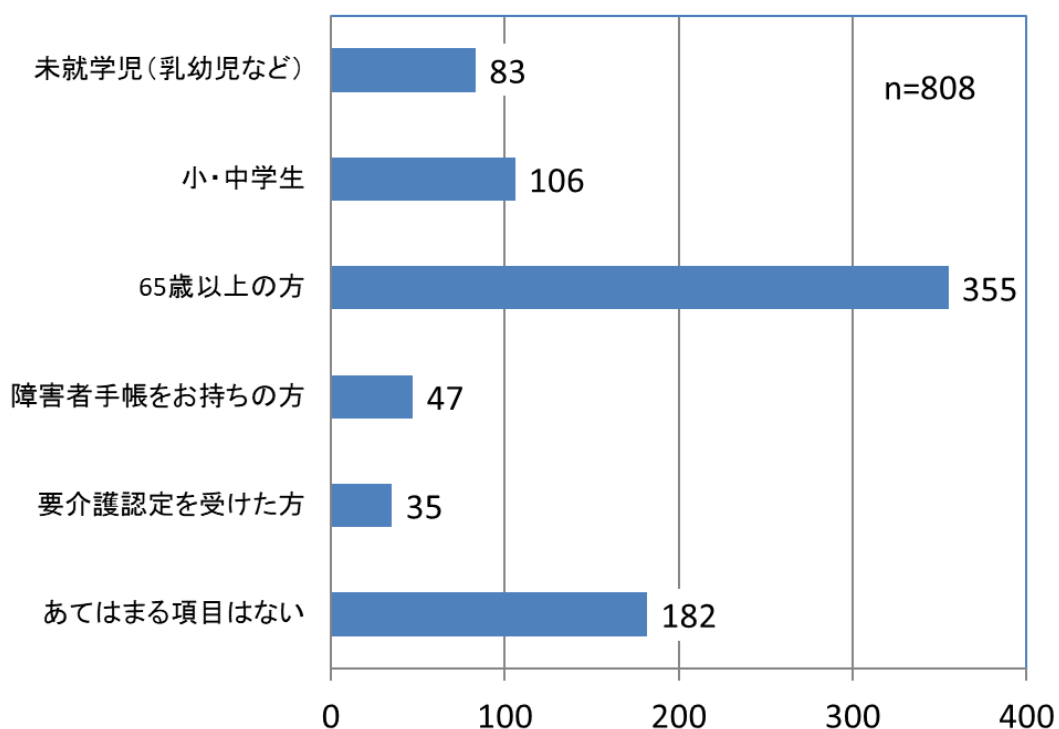
③居住地



④職業



⑤回答者自身と同居の家族（複数回答可）



(7) 報告書の見方

本報告書では、調査結果の数値は原則として回答の選択率(%)及び構成比(%)で表記しており、小数点以下第一位を四捨五入している。したがって、合計しても100%にならない場合がある。

居住地別で分析する場合、標本数の関係で、吉武、赤間地区をまとめて「吉武・赤間」地区として、玄海、池野、岬、大島地区をまとめて「旧玄海・大島」地区として分析・表記している。